



真生会白百合ベビーホーム便り

明るく、楽しく、元氣よく

9月から手足口病が流行し、大人の感染もありました。潜伏期間が長いので、体調管理を慎重にして過ごしていきたいと思います。それでも子どもたちは、全般にとっても元気です。遠足や運動会、そしてお月見等々、戸外活動の楽しみを存分に味わっています。さて、法人として初めて取り組む児童発達支援事業について、下記の通りご紹介させていただきます。この度白百合ベビーホームの2階のスペースでオープンいたしました。児童相談所の方と入所している子の発達について、生活状況の様子から慎重にアセスメントし、必要のあるお子さんは、地域のお子さんと共に支援を受けられるようになります。子どもの育ちを全方向的に支援できる乳児院づくりに向けて、全国の乳児院の皆様と同じく、当院も勉強の毎日です。

社会福祉法人真生会 白百合ベビーホーム 理事長／院長 青木紀久代

スコーレ白百合のご紹介



ベビーホームの2階に児童発達支援事業所スコーレ白百合がオープンしました。

児童発達支援は、発達に気がかりのある、主に未就学のお子さんを対象にした児童福祉法に基づくサービスです。法人がこれまで培った乳幼児期に特化した支援のノウハウを生かし、お子さんが日常生活や社会生活に必要な能力を身に付けていくための支援を行ってまいります。

「スコーレ白百合」の「スコーレ」とはギリシャ語で「遊びや学び」といった意味があります。一人ひとりの個性を大切に、ご家庭と協力しながら、遊びを通して仲間と楽しめる力を育てます。

「好きなことは伸びること」「遊ぶことは学ぶこと」「分かち合うことは幸せなこと」をモットーに子どもの気持ちに寄り添った支援をしていきたいと思っています。子どもも大人も、みんなが笑顔になれる場所になれば嬉しいです。

9月 各ユニットの様子

【たんぽぽ・すずらん】

9月になっても暑い日が続いていますが、ベビーホームにもトンボが飛び交うようになってきました。少し暑さが和らいだある日のこと、近くの広場へと遊びにいくと、青色と赤色のきれいな紐が落ちているのを発見！ちゃーちゃんの手提案でしっぽ取りをすることになりました。ズボンのお尻部分に紐を挟み入れて、準備OK！ちゃーちゃんが「まてまて～」と追いかけると、しっぽを取られまいと一生懸命走って逃げていきます。2、3歳のお姉さんたちが楽しそうに遊んでいると、1歳のお友だちも自然とその輪の中に・・・たくさん走ってたくさん遊んだ一日でした。



【ひまわり・なのはな】

外に行くと様々な夏の虫に出会います。興味はあるけど近づくと少し怖がる子どもたち。虫を近くで見られるようにと、空のペットボトルを使ってみんなで虫カゴを作りました。すると、小さなバッタを捕まえようとする子どもたちの姿が見られました。自分で捕まえることはできなかったけど、ちゃーちゃんが捕まえてくれた虫をじっくりと観察することができました。



【あさがお・すみれ】

トイレットペーパーの芯で電車を作り、すずらんテープを通してモノレールのようにして遊びました。すずらんテープを一人で芯に通すことは難しく「ちゃーちゃん、一緒にしよ」とかわいいお願い。電車の音楽を流し、子どもたちの気分はまるで運転手さん。「電車にのってお出かけしようかなー？」と待っていると「でんしゃですよー」と迎えに来て乗せてくれました。少し高い所にある電車も、背伸びをして勢いよく「びゅーん！」と走らせることが出来ました。室内でも汗をかくほど何回も電車を走らせ、満足気な子どもたちでした。



【もも・あんず】

ちゃーちゃんたちの様子をよく見ている子どもたち。布団敷きが始まると「ぱったん、ぱったん」とお手伝いが始まります。自分のマークのタオルケットを見つけると「あった！」と嬉しそうに伝え、お友だちのマークに気付くと「でんでん（かたつむり）」と教え合っています。お洗濯干しやお米研ぎも興味津々。ある日には、「おいしくな～れ、おいしくな～れ」と言いながらお米を研いで、「スイッチ、ボン」と言いながら、ホカホカごはんが出来上がるのを楽しみに待つそんな日々を過ごしています。





ダンスプログラムは音楽やリズムに合わせて身体をのびのびと動かして子どもたちが楽しみながら成長を促すプログラムです。今では『モアナの曲』『アンパンマン』『ジャンボリーミッキー』等、子どもたちも様々な曲で楽しく踊ることができるようになってきました。曲が終わってしまうと「もういっかい」とアピールするぐらい、楽しみにしています。

プログラムの様子



行事や季節のテーマに合わせた曲でダンスをしながら、子どもだけでなく養育者もたくさん身体を動かして踊ることでスキルアップにつながり、よいリフレッシュともなっています。
ダンスの最後にはピアノの演奏で一緒に歌を歌ったり、ピアノに触れる時間を作ってくださいます。また、子どもたちがリクエストした好きな曲で歌い、演奏することも楽しみの時間となっています。



今年もふじさわ湘南ロータリークラブ様のご招待でファンタジーキッズリゾートに行ってきました。子どもたちは大型バスに乗るのも嬉しいようで、ワクワクしながら乗りこみました。



現地では、広い室内を駆け回り、興味があるものにはどんどん挑戦したり、じっくり遊びこんだり、それぞれの楽しみ方を見つけていました。中でも大きい子どもたちは大型の滑り台が気に入り、何度も何度も斜面を登り、てっぺんから滑っては弾ける笑顔を見せていました。ビニール製で中に空気が入っているのでよく弾み、なかなか立てないことも面白かったようです。ロータリークラブの皆様も子どもたちの興味に合わせて、より楽しく遊べるように関わってくださり、たくさん交流したあとは子どもたちからお礼のお手紙をお渡ししました。今年もたくさん子どもたちの笑顔と成長が見られる遠足となりました。改めてふじさわ湘南ロータリークラブの皆様、ご招待いただき本当にありがとうございました。

看護よりトピックス

RSウイルス感染症



秋から冬に流行しやすいRSウイルス感染症についてお話します。RSウイルスは身近なウイルスで、免疫のある大人にはごく軽い風邪ですが、初めてかかる子ども、特に6か月未満の赤ちゃんでは症状が重くなります。せきが出て、呼吸がゼロゼロするほか、高い熱が数日続いたりします。ゼイゼイする息苦しさを伴い、夜眠れなくなったり、気管支炎や肺炎で入院が必要になることもあります。特効薬はないので、安静にして体がウイルスを退治するのを待ちましょう。軽いせきや鼻水の症状がある周囲の人が知らないうちに、子どもにうつす可能性があります。症状があるときは、マスクをつけましょう。またウイルスは手を介してもうつるので、こまめに手を洗い、家族全員で予防しましょう。

10月の予定

- 3日 運動会
- 7日 ダンスプログラム
- 8日 リトミック
- 23日 合同防災訓練
- 25日 おはなしの会
- 27日 アートプログラム
- 30日 コンサートリーディング
- 31日 ハロウィン

今月の絵本

ハッピー
ハロウィン！

作：新井 洋行

講談社

どんぐりくりくり
おともだち

作：すとう あさえ
絵：林 なつこ

ほるぷ出版

発行元 横浜市泉区中田東1-41-3
社会福祉法人真生会
白百合ベビーホーム
責任者 院長 青木 紀久代
電話 045-803-0398